

令和7年度の取組みについて

1. 尼崎21世紀の森づくり協議会での主な報告・協議事項の予定

(1) 「(仮称) 尼崎21世紀の森構想エリアの今後のまちづくり共創マップ」作成

森構想においては、展開期から概成期へ変わる時期に差し掛かる中で、当初から重視している参画と協働の必要性がより一層増すとともに、森づくりを通じた森構想エリアの新たな価値や魅力の創出に向けた取組を展開していくことが望まれる。また、行動計画に基づく取組については一定の成果は挙がっているものの、森構想エリア内外へのPRについては課題が残っており、森構想がめざす将来像を森構想エリア内外の多様な主体で共有できるモノやテーマが求められる。

以上をふまえ、2年後の2027（令和9）年3月に森構想策定25周年を迎えるにあり、森構想のテーマである「森と水と人が共生する環境創造のまち」の実現に向けた将来像や取組イメージを多様な主体で共有し、ともに取組んでいくため、「(仮称) 尼崎21世紀の森構想エリアの今後のまちづくり共創マップ」（以下、共創マップという）を作成する。作成にあたっては、森構想推進にかかわる活動団体や森の会議、企業版森の会議などと連携し、主体的にまちづくりに関わっている実践者の視点を重視するなど、今後の共創社会にふさわしいボトムアップ型のプロセスを通じて取組む。

令和7年度は共創マップの作成にむけて、主な活動団体等の状況を把握し、共創マップの基本方向のとりまとめを行うため、以下に取り組む。

- ①森構想エリアにおけるまちづくりの経緯の整理（年表の更新・整理）
- ②現在の構想エリアの取組み把握（活動テーマ、実施場所などを把握）
 - ・主な活動団体や県、市が実施している事業や活動および活動主体を整理する。
（必要に応じてヒアリングも想定）
- ③共創マップの基本方向のとりまとめ
 - ・令和8年度に作成・完成予定の共創マップの構成をとりまとめる

2. 森構想の推進に向けた阪神南県民センターの主な取組み

①環境学習フォーラム2025（継続）

企業・団体によるブース出展や環境学習の取組・成果の発表など、森構想エリア内の環境学習の取組をエリア内外に広く情報発信するフォーラムを開催する。

開 催 日：令和7年7月29日（火）

開催場所：尼崎市中小企業センター

②クルーズ&ウォークで尼崎運河だいはっけん！（継続）

尼崎臨海地域の魅力を発見するウォークラリーや尼崎運河の栄養循環を学ぶクルーズなど、尼崎運河における賑わいイベントを開催する。

開 催 日：令和7年11月2日（日）

開催場所：尼崎運河北堀キャナルベース周辺、尼崎スポーツの森、等

③間伐材の有効活用に向けた実証実験（新規）

尼崎の森中央緑地で発生した間伐材の有効活用に向けた実証実験を行う。